

宮崎県気候変動適応センター通信 第18号

ココが知りたい地球温暖化 気候変動適応編 ~Part2~

気候変動影響及び気候変動適応に関する情報の収集・整理・分析・提供を行っている、国立環境研究所気候変動適応センターでは、「気候変動適応」に関する、よくある質問、素朴な疑問に第一線の研究者がズバリ答える「ココが知りたい地球温暖化 気候変動適応編」を公開しています。

「宮崎県気候変動適応センター通信 第16号」において、Q1・Q2を掲載しましたが、今回は、その続きを御紹介します。

Q3

生物は過去の気候変動に適応して進化してきました。?
現在進行しつつある気候変動にも
適応できるのではないですか？



A 私が
答えます！



西廣 淳

気候変動適応センター
気候変動影響観測・監視研究室長



ご指摘の通りで、生物は現在や未来の気候にも適応できるかもしれませんが、実際、最近50年ほどの間に、温暖な気候条件にあった性質が進化した生物も知られています。しかし新しい環境に適応できる生物ばかりではありません。進化の速さが十分に速くないと、環境の変化に追いつけないのです。また、ある気候変動に応じた生物の進化や植生の変化により、別の生物が絶滅に追い込まれるかもしれません。現在急速に進行している気候の変化は、多くの生物にとって危機をもたらすものといえます。



Q4

SDGs?
持続可能な開発目標 (SDGs) が達成できれば
「適応」も十分できていると言えますか？



A 私が
答えます！



真砂佳史

気候変動適応センター
気候変動適応戦略研究室



SDGsは、現在の世代や将来の世代が持続可能な形で発展を続けていくために、2030年までに達成すべき目標を示したものです。気候変動による影響に緩和・適応の両面に対応することもSDGsの目標13に掲げられています。しかし、気候変動による影響は2030年以降も続きますし、今後新たに発生する影響への適応も必要です。気候変動への適応はSDGsの期間内に完了するものではなく、より長期的な視野で進めていくべきものであることから、SDGsを達成しても適応が十分できているとはいえません。



〈出典〉気候変動適応情報プラットフォーム「ココが知りたい地球温暖化 気候変動適応編」

「ココが知りたい地球温暖化 気候変動適応編」はこちらから↓

https://adaptation-platform.nies.go.jp/climate_change_adapt/qa/index.html

宮崎県気候変動適応センター

事務局：宮崎県環境森林部環境森林課 電話：0985-26-7084 E-mail:kankyoshinrin@pref.miyazaki.lg.jp